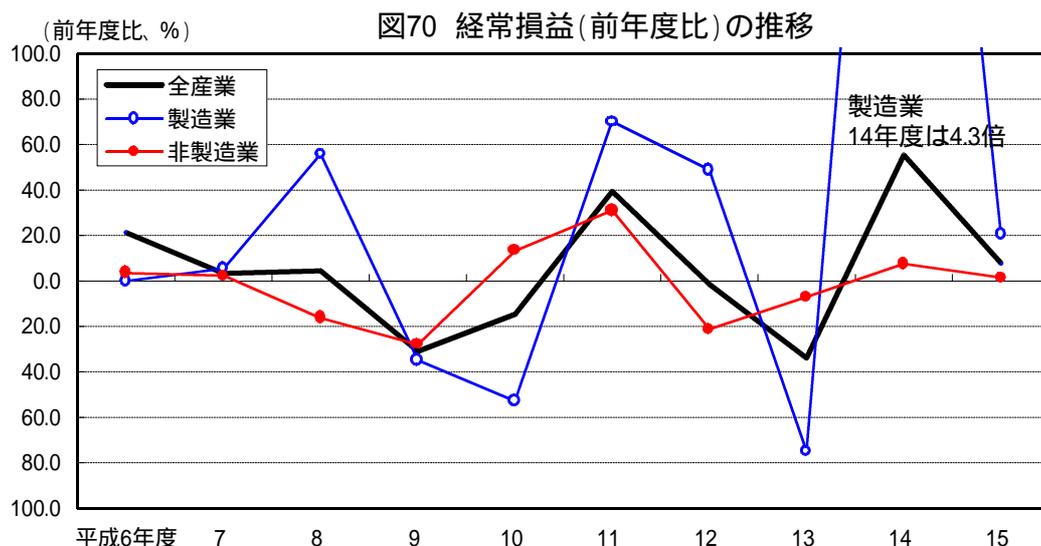


## 6 企業関連

### (1) 企業収益

#### ア 経常利益の推移

日本銀行福島支店の「全国企業短期経済観測調査(福島県分)」の結果から、平成15年度の経常損益(前年度比)をみると(図70)、製造業(+20.4%)、非製造業(+1.5%)ともに増益となり、全産業では2年連続で増益となった。

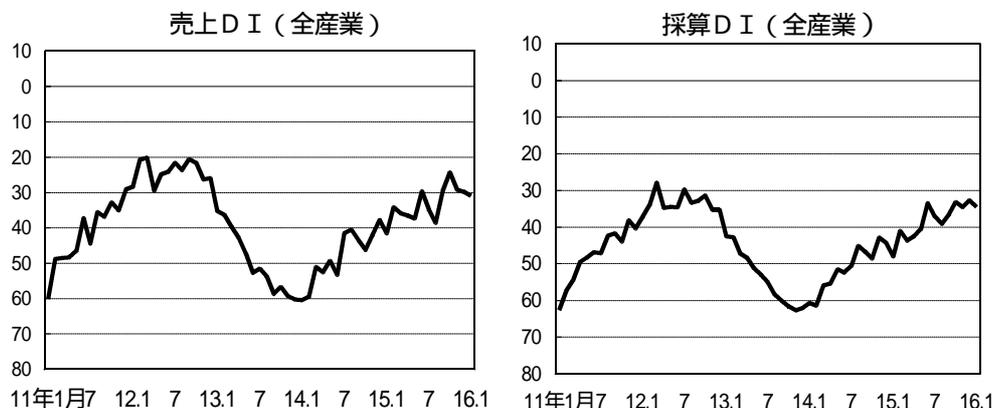


備考 1 日本銀行福島支店「全国企業短期経済観測調査(福島県分)」より作成  
 2 実績値を使用  
 3 15年度は調査サンプルの入れ替えが行われています。

#### イ 中小企業の売上、採算判断

平成15年の中小企業の採算状況の変化を、全産業の売上、採算判断のDI値((財)福島県産業振興センターの「中小企業経営動向調査結果」)の推移からみると(図71)、平成14年から緩やかな上昇傾向が続いている。

図71 中小企業の売上、採算判断DI



備考 (財)福島県産業振興センター「中小企業経営動向調査結果」より作成

## (2) 企業倒産

平成 15 年の企業倒産は、件数は年間を通して減少傾向が続き 190 件となり、前年比 21.5 % の減少し 8 年振りに 200 件を下回った(図 72 上)。また、負債総額は 1164 億 4400 万円となり(図 72 下)、前年比で 34.1 % 減少した。

負債総額 5 億円以上の大型倒産件数は 33 件となり、このうち、負債総額 10 億円以上の倒産が 12 件あった(図 73)。

四半期別に企業倒産件数をみると(図 74)、平成 15 年は第 四半期に前期よりも増加したものの、その後は減少傾向が続いた。

図72 企業倒産

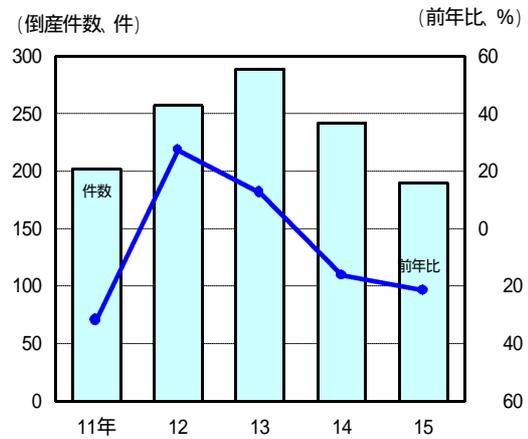
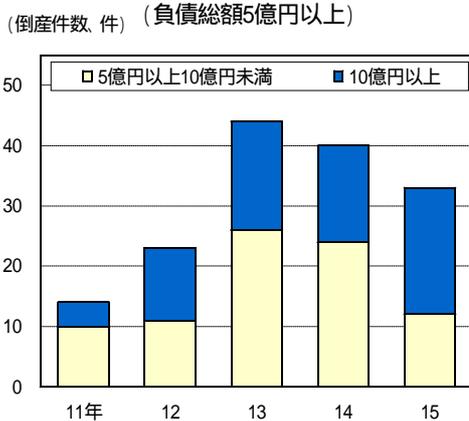
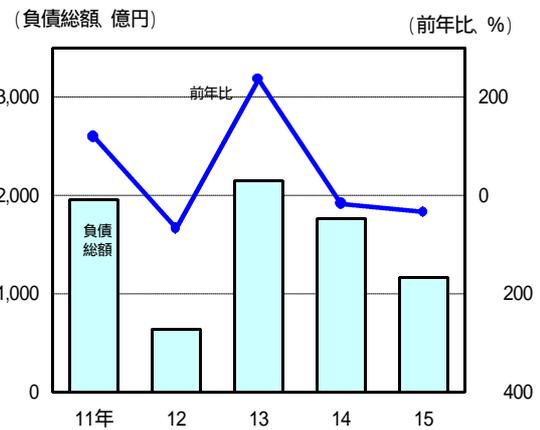


図73 大型倒産の状況

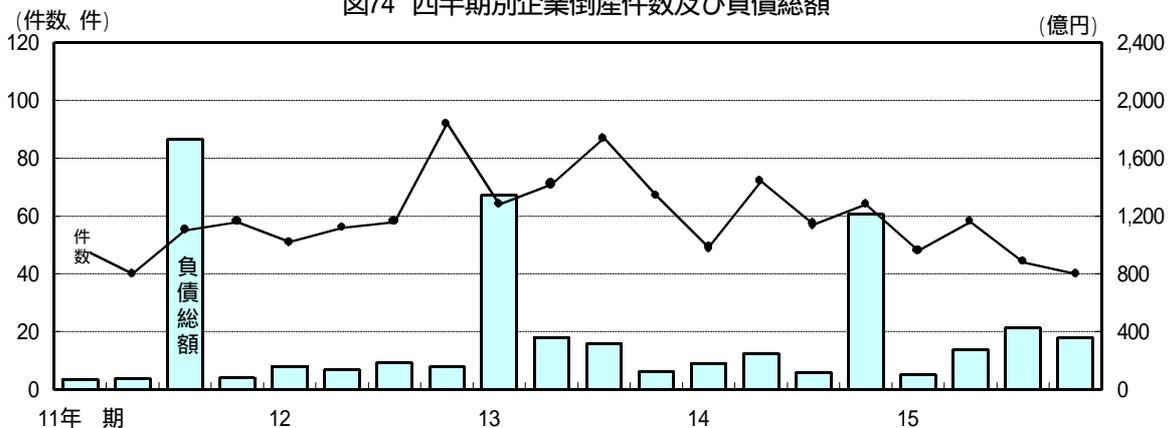


備考 株式会社帝国データバンク福島支社「福島県内企業倒産集計」より作成



備考 株式会社帝国データバンク福島支社「福島県内企業倒産集計」より作成

図74 四半期別企業倒産件数及び負債総額



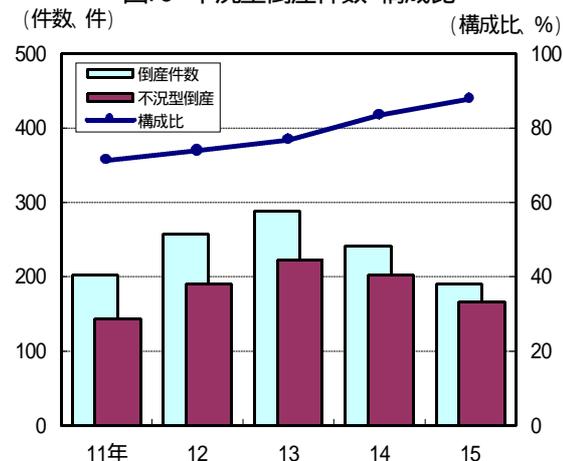
備考 株式会社帝国データバンク福島支社「福島県内企業倒産集計」より作成

倒産件数を業種別にみると(図 76 左)、建設関係が最も多く 67 件で、全体の 35.3%を占めており、次いで小売業が 32 件、製造業 30 件などとなった。

次に、倒産件数を原因別にみると(図 76 右)、販売不振が 163 件で全体の 85.8%と大半を占めており、次いで、放漫経営が 12 件、設備投資の失敗が 4 件などとなっている。

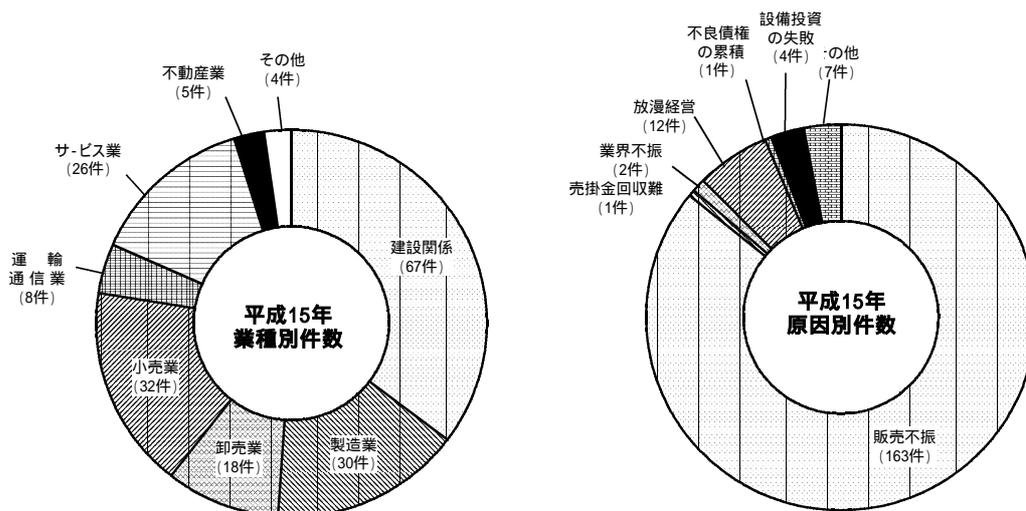
これを、不況型倒産(販売不振、売掛金回収難、業界不振、不良債権の累積の計)の件数で見ると(図 75)、全体の 87.9%を占める 167 件となっており、5 年連続で構成比が上昇するとともに、2 年連続で 80%を超えるに至った。

図75 不況型倒産件数・構成比



備考 株式会社帝国データバンク福島支社「福島県内企業倒産集計」より作成

図76 業種別・原因別企業倒産件数



備考 株式会社帝国データバンク福島支社「福島県内企業倒産集計」より作成

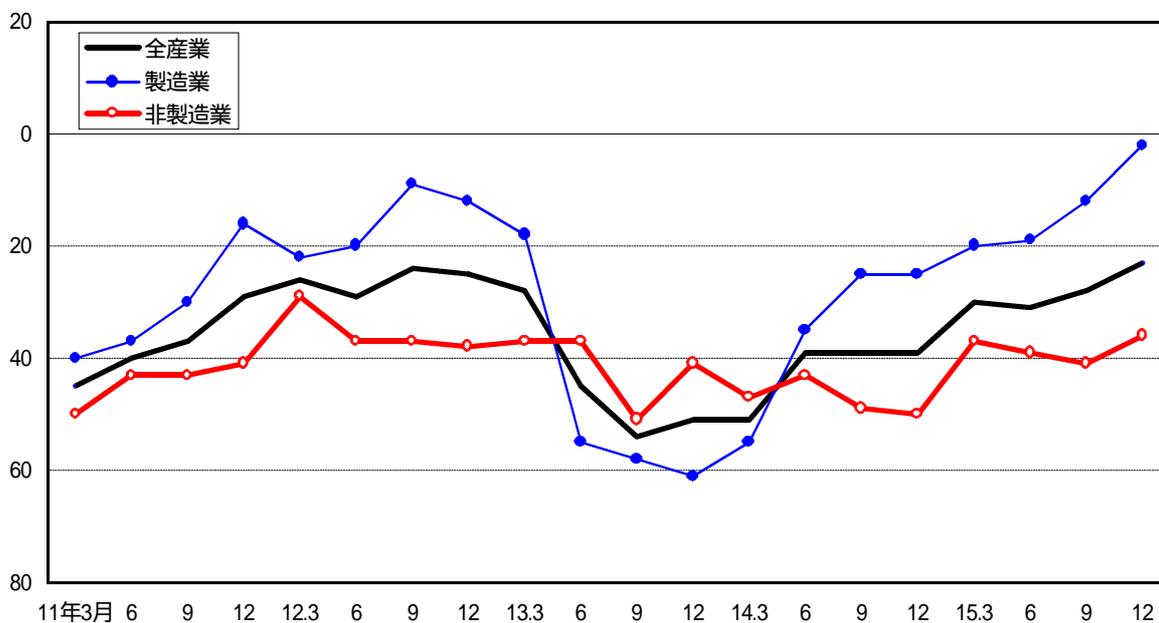
### ( 3 ) 業況判断 D I

#### ア 全国企業短期経済観測調査

日本銀行福島支店の「全国企業短期経済観測調査(福島県分)」の結果から、平成 15 年の業況判断 DI の動きをみると(図 77)、平成 14 年からの製造業を中心とした改善傾向が続き、平成 14 年 12 月調査のマイナス 39 から平成 15 年 12 月調査のマイナス 23 と 16 ポイント改善した。

業種別にみると、製造業は平成 14 年 12 月調査ではマイナス 25 の「悪い」超であったものが、徐々に改善が進み 15 年 12 月調査ではマイナス 2 の「悪い」超へとマイナス幅が縮まり、業況感が大きく改善した。一方、非製造業では、14 年 12 月調査ではマイナス 50 であったものが、平成 15 年 3 月調査では、マイナス 37 へ改善したが、その後はおおむね横ばいで推移した。

図77 業況判断DI



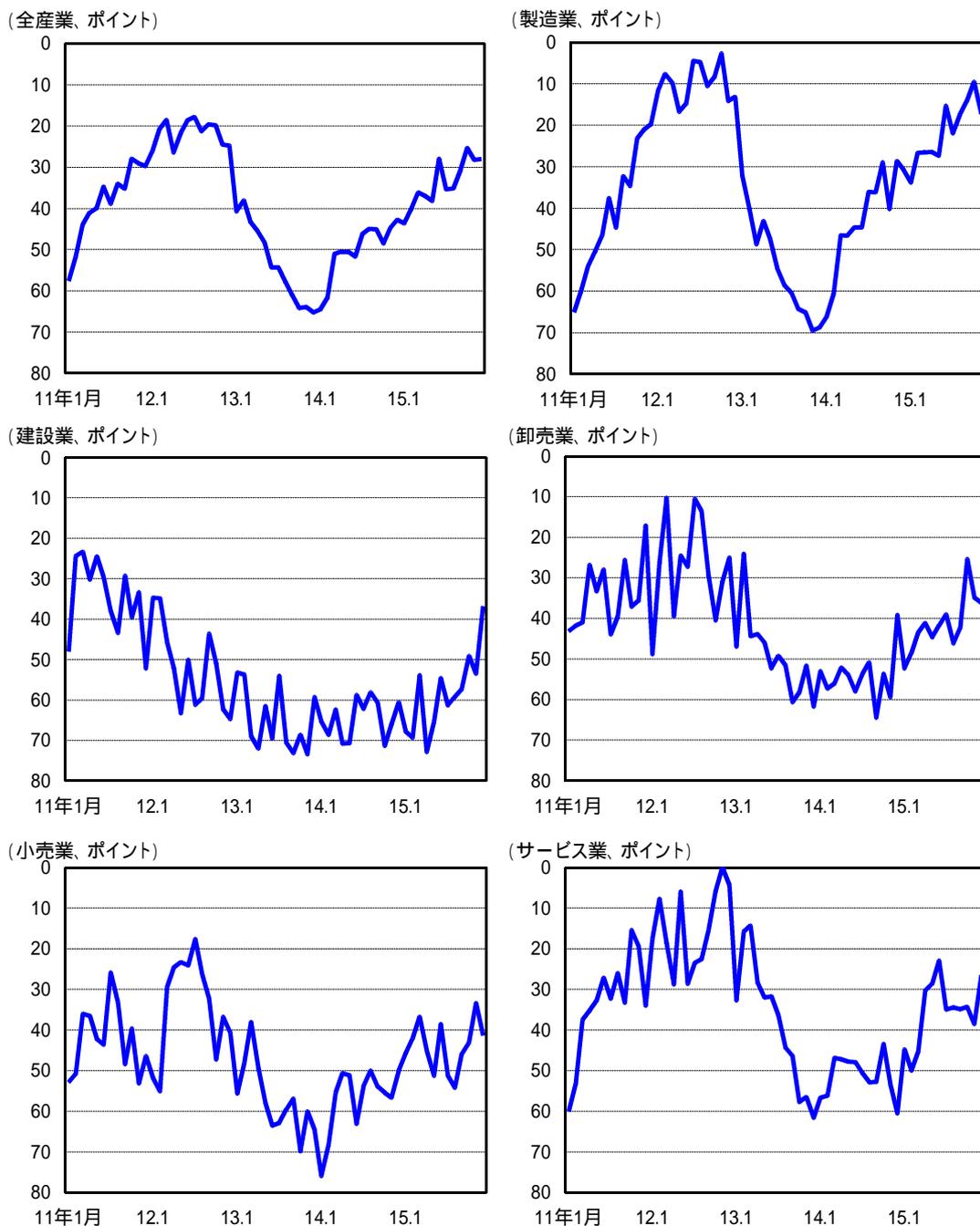
備考 日本銀行福島支店「全国企業短期経済観測調査(福島県分)」より作成

## イ 中小企業業況判断DI

平成 15 年の中小企業業況判断DIの推移をみると(図 78)、全産業では、平成 14 年からの改善傾向が持続しており、年末にはマイナス 28.0 まで改善した。

産業別にみると、製造業では改善傾向が鮮明になっており、前年には改善傾向がみられなかった卸売業やサービス業にも改善の動きがみられたものの、建設業ではほとんどの月でマイナス 50 を上回るなど、業種間較差が目立った。

図78 中小企業業況判断DI



備考 財団法人福島県産業振興センター資料より作成